


外国語としての 関西弁

101124

山下好孝

yama@isc.hokudai.ac.jp

本日の講義の目的

- 
- (1) 関西弁の音声的特徴を体験する
 - (2) 関西弁の歴史的考察



発音チェック 1

- 1) a 木 b 気 c キー
- 2) a 子 b 粉 c 個
- 3) a 死 b 四 c 詩
- 4) a 橋 b 箸 c 端



発音チェック 2

■ 1) a 木 b 気

■ 2) a 鼻 b 花

どちらを発音したでしょう？

■ 1A 変える

■ 2A 花

■ 3A 履く

■ 4A 先生

■ 5A ケーキ

■ 6A 支障

■ 7A これら

■ 8A 用意

■ 1B 蛙

■ 2B 鼻

■ 3B 掃く

■ 4B 宣誓

■ 5B 景気

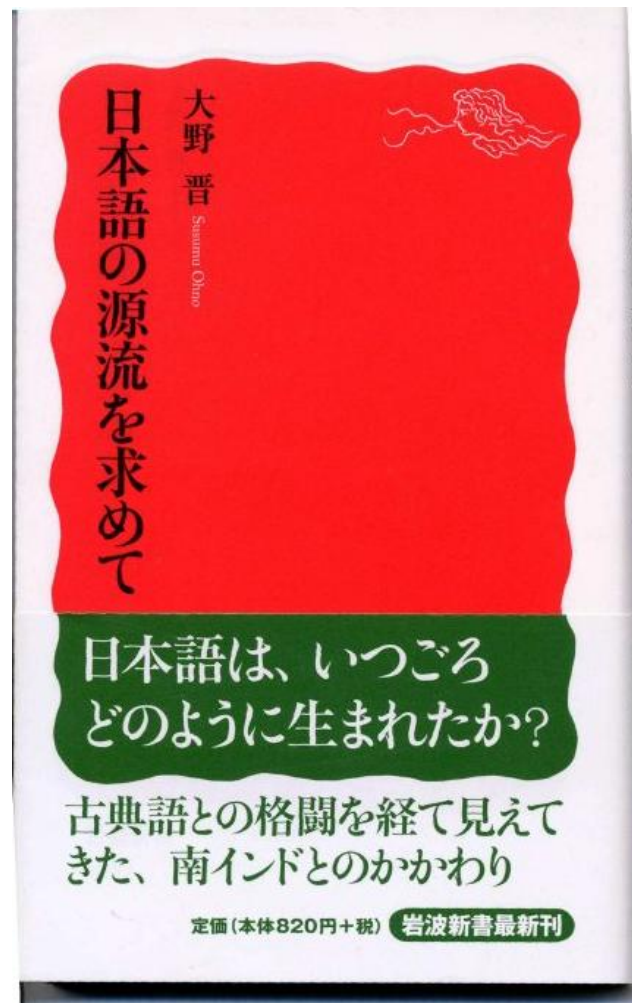
■ 6B 師匠

■ 7B コレラ(病気)

■ 8B 容易

関西弁講義(2004)

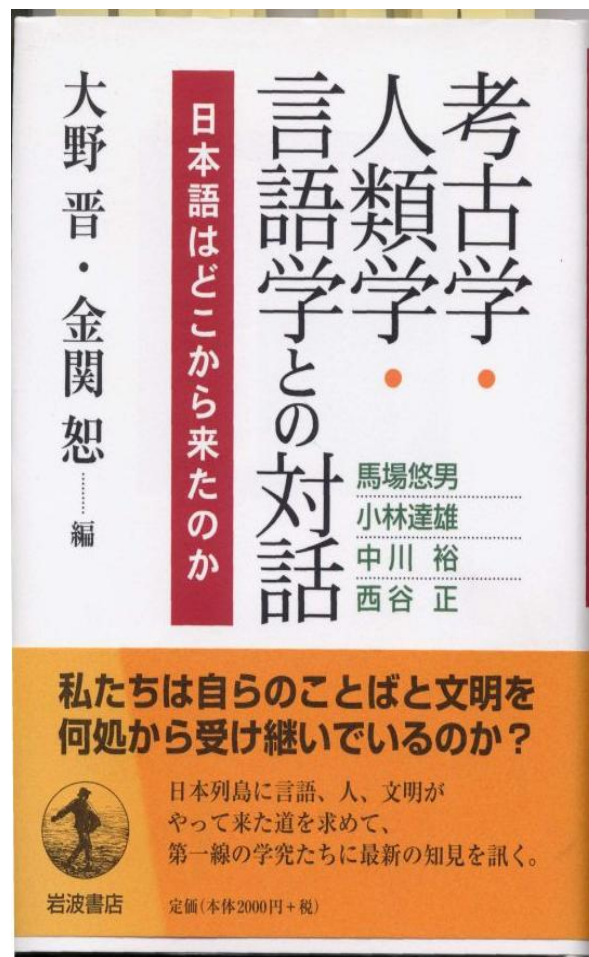
↓2007



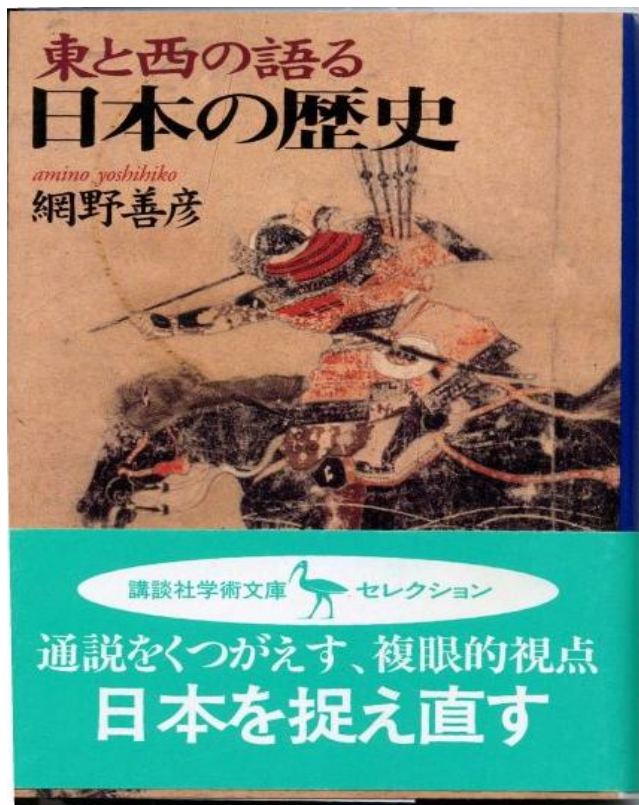
青土社1998



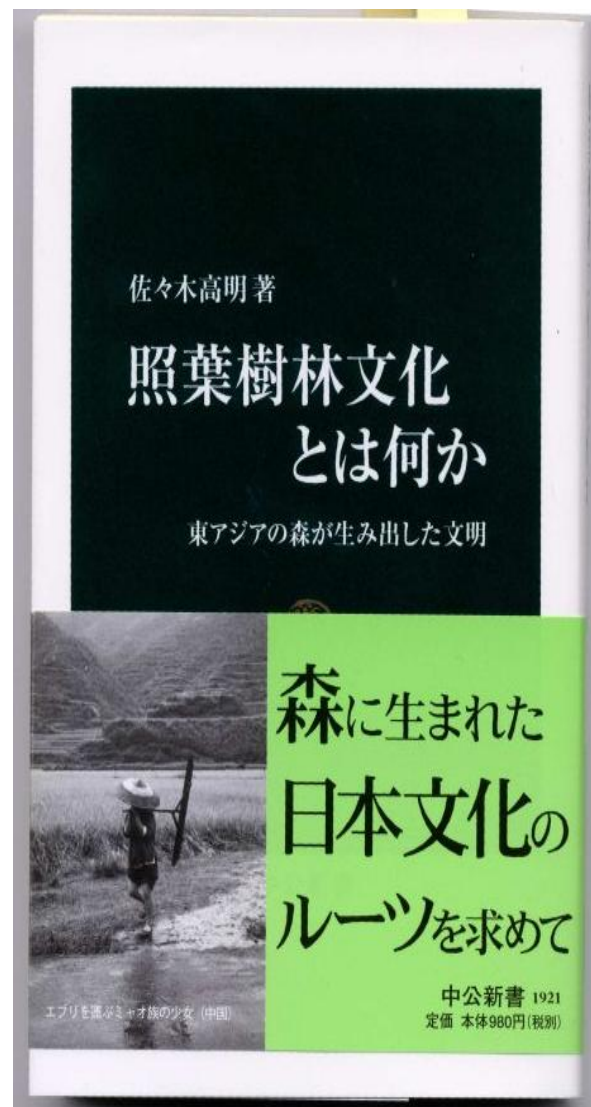
岩波書店 2006



2001



2007





(祝)甲子園出場！！

南北海道代表日ハム高校

■	1	二	田中	たなか
■	2	左	森本	もりもと
■	3	右	稲葉	いなば
■	4	三	小谷野	こやの
■	5	中	糸井	いとい
■	6	一	中田	なかた
■	7	遊	金子	かねこ
■	8	捕	鶴岡	つるおか
■	9	投	ダルビッシュ	だるびっしゅ

(祝)甲子園出場！！

南北海道代表日ハム高校 標準語

- 1 たなか ○●●
- 2 もりもと ○●●●
- 3 いなば ●○○
- 4 こやの ●○○
- 5 いとい ○●●
- 6 なかた ○●●
- 7 かねこ ○●●
- 8 つるおか ○●●●
- 9 だるびっしゅ ●○○○○

(祝)甲子園出場！！

南北海道代表日ハム高校 関西弁

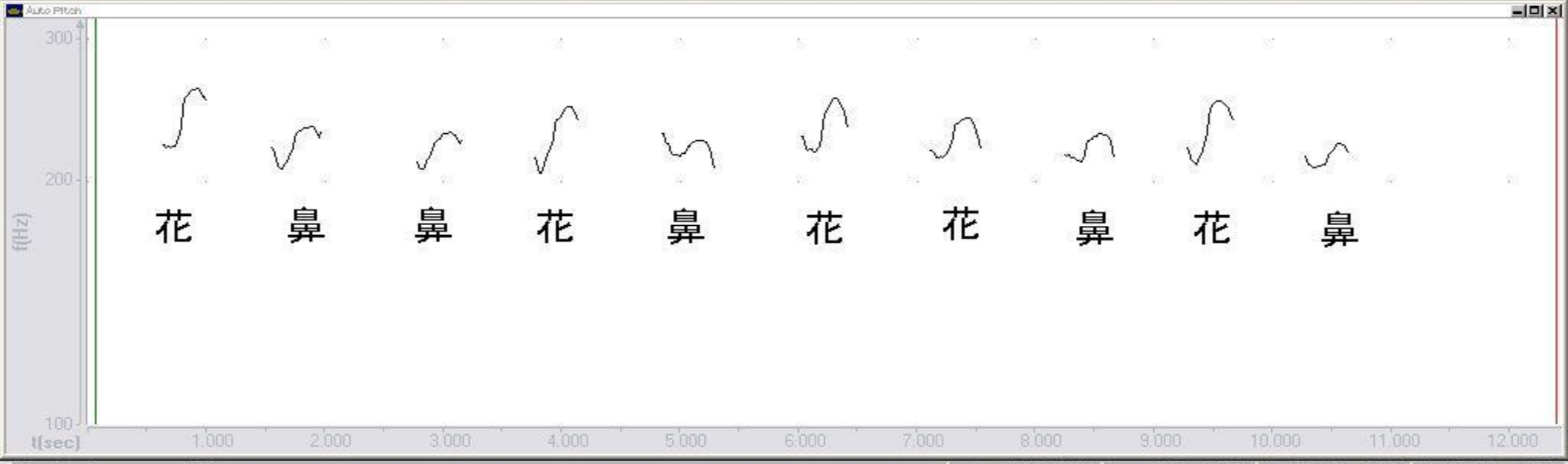
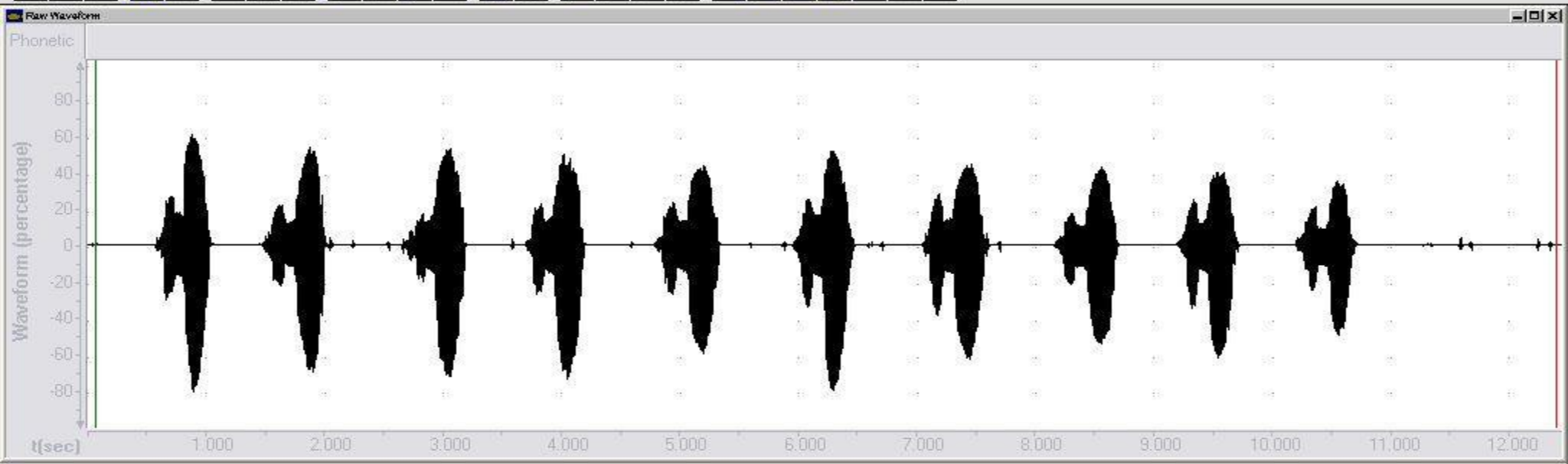
- | | |
|------------|-------|
| ■ 1 たなか | ○●○ |
| ■ 2 もりもと | ●●●● |
| ■ 3 いなば | ○●○ |
| ■ 4 こやの | ●○○ |
| ■ 5 いとい | ○○● |
| ■ 6 なかた | ○●○ |
| ■ 7 かねこ | ○○● |
| ■ 8 つるおか | ●●●● |
| ■ 9 だるびっしゅ | ●●○○○ |

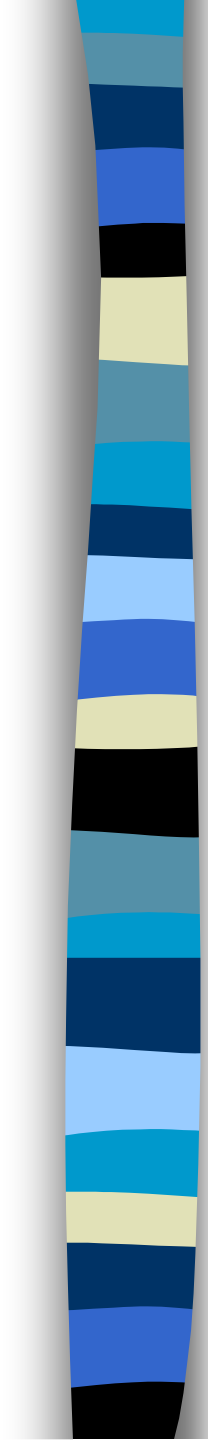


発音チェック3

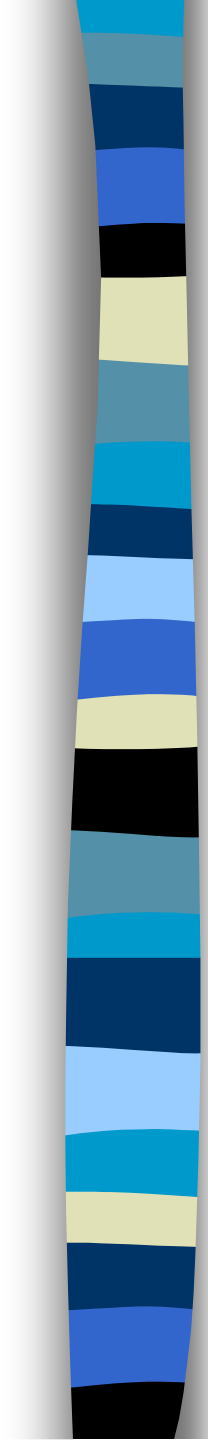
■ 花 鼻 鼻 花 鼻

■ 花 花 鼻 花 鼻

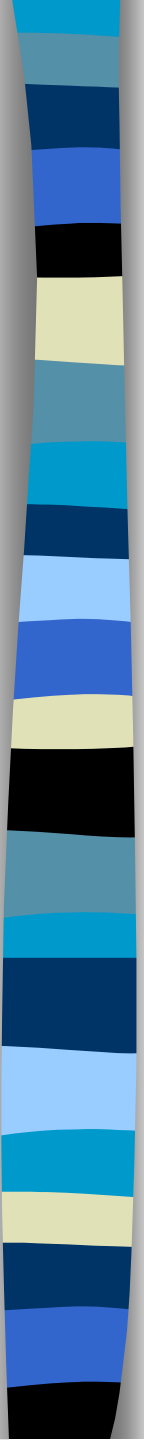




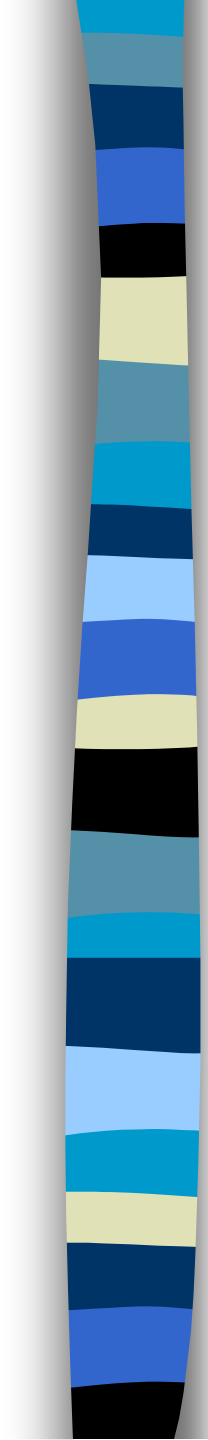
1



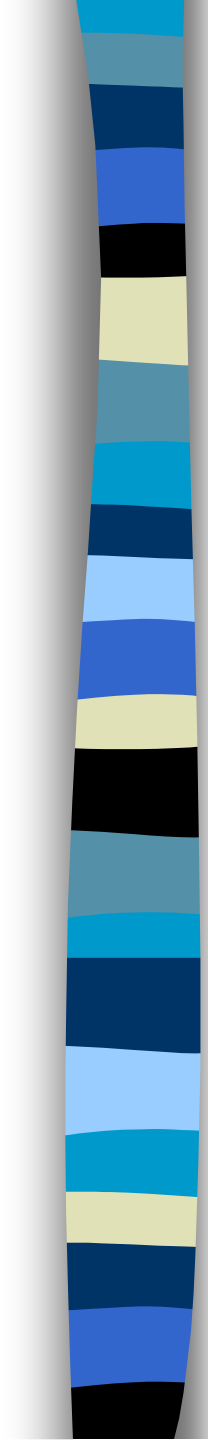
2



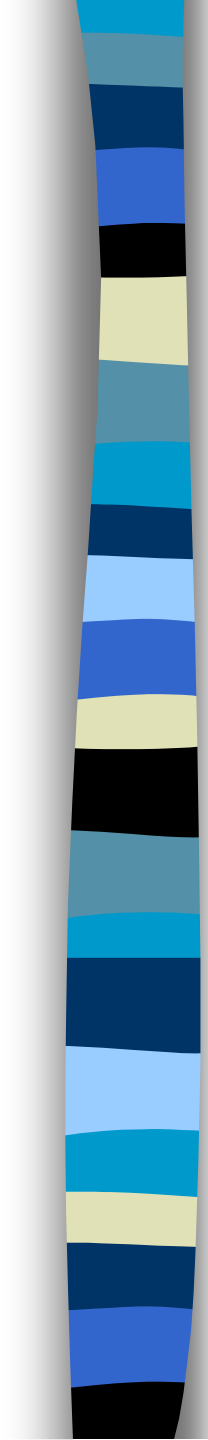
3



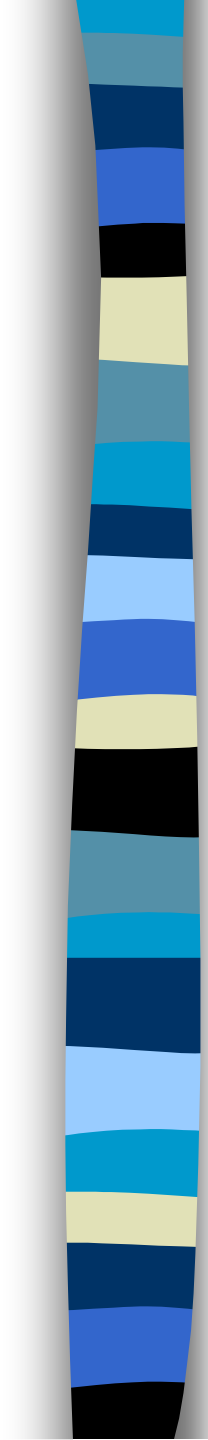
4



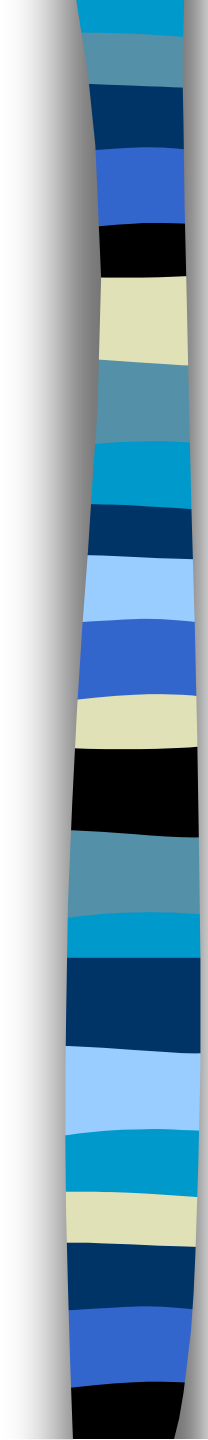
5



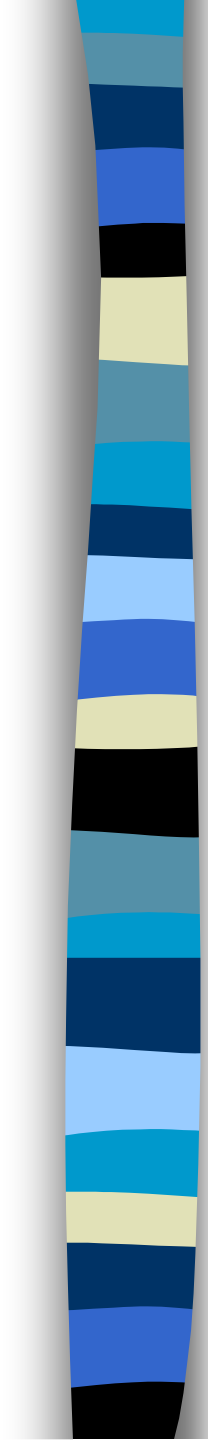
6



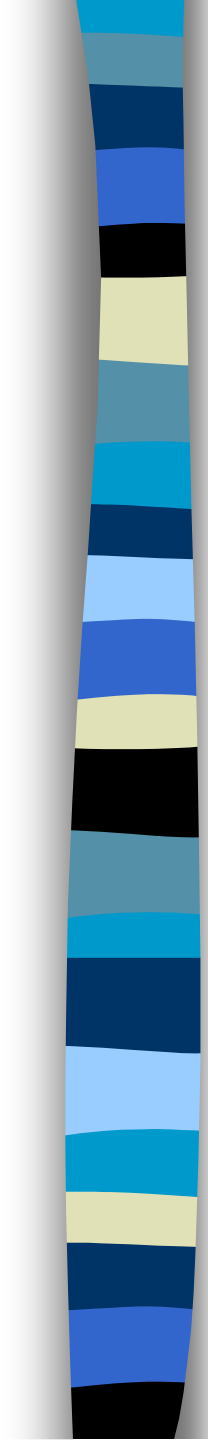
7



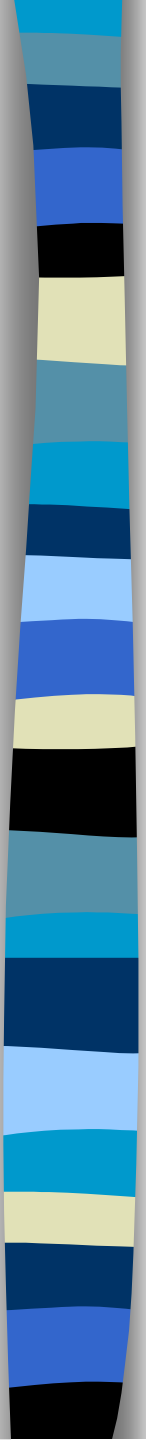
8



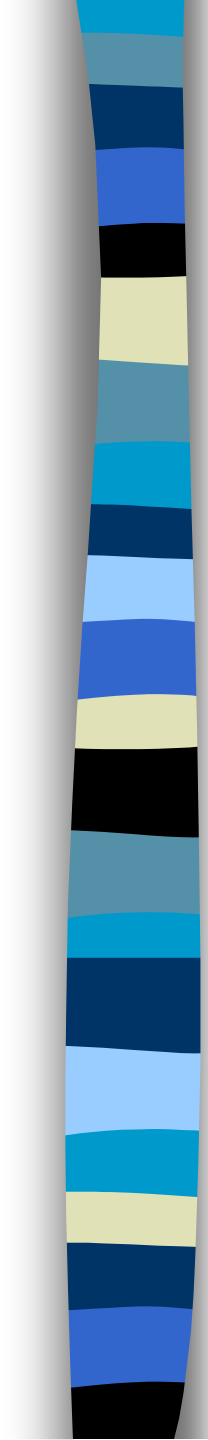
9



10



1000



200



ある学生のイメージ1

- 日本は島国である
- 日本は単一民族の国である
- 日本は単一言語の国である
- 日本は単一文化の国である
- 日本は米を神聖なものとする国である。
- →したがって日本は世界に類を見ないユニークな国である

ある学生のイメージ2

■ 縄文語

■ ↓

■ 弥生語

■ ↓

■ 古代日本語

■ (奈良時代)

■ ↓

■ 中世日本語

■ ↓

■ 近世日本語

■ ↓

■ 近代日本語

■ (標準語)



ある学生のイメージ3

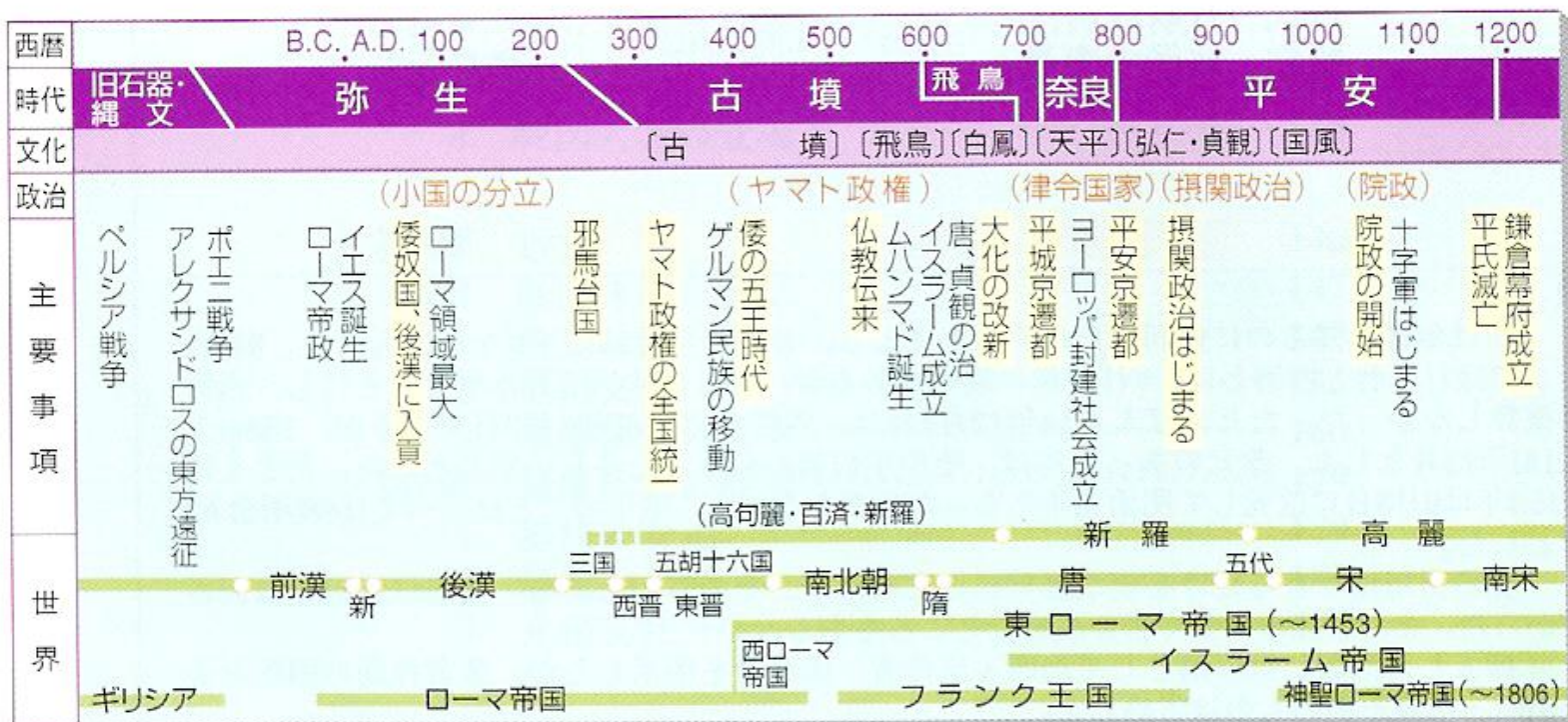
- 方言は標準語が崩れて出来た
- 方言は日本語なので、異なる方言話者同士でもコミュニケーション出来る
- しかし、方言は間違った日本語である



小手調べ小テスト

- 問題1
- 「日本」という国はいつごろ成立したのでしょうか？
- 問題2
- 「漢字」はいつごろ日本に伝来したのでしょうか？

日本語はいつ出来た？





「日本」という国名

- 飛鳥浄御原令(689)
- 天武天皇が681年に編纂を開始
- 持統天皇が689年に施行した法典

- ニホン、ニッポン、riben?
- 「日の本(ひのもと)」って? → 漢字の力



漢字の機能

- 表音文字機能 → 万葉仮名からひらがな、カタカナに発達
- 表意文字機能 → ※訓読み
 - 一説によるとウイグル語にも？※
 - 朝鮮半島、日本列島、ベトナム

漢字はいつ渡来したのか？

- 王仁(わに)が今から千数百年前に百済から渡来し、日本に初めて漢字の手本である「千字文」を伝えた。
- (5世紀ごろ？)

■ ? ? ?



志賀島の金印(西暦57年)





漢字の伝来

- 古事記→後4世紀頃
- 志賀島の金印 後57年
 - （後漢光武帝→倭奴国王）
- 秦の始皇帝の時代 徐福伝承
 - （紀元前200年）



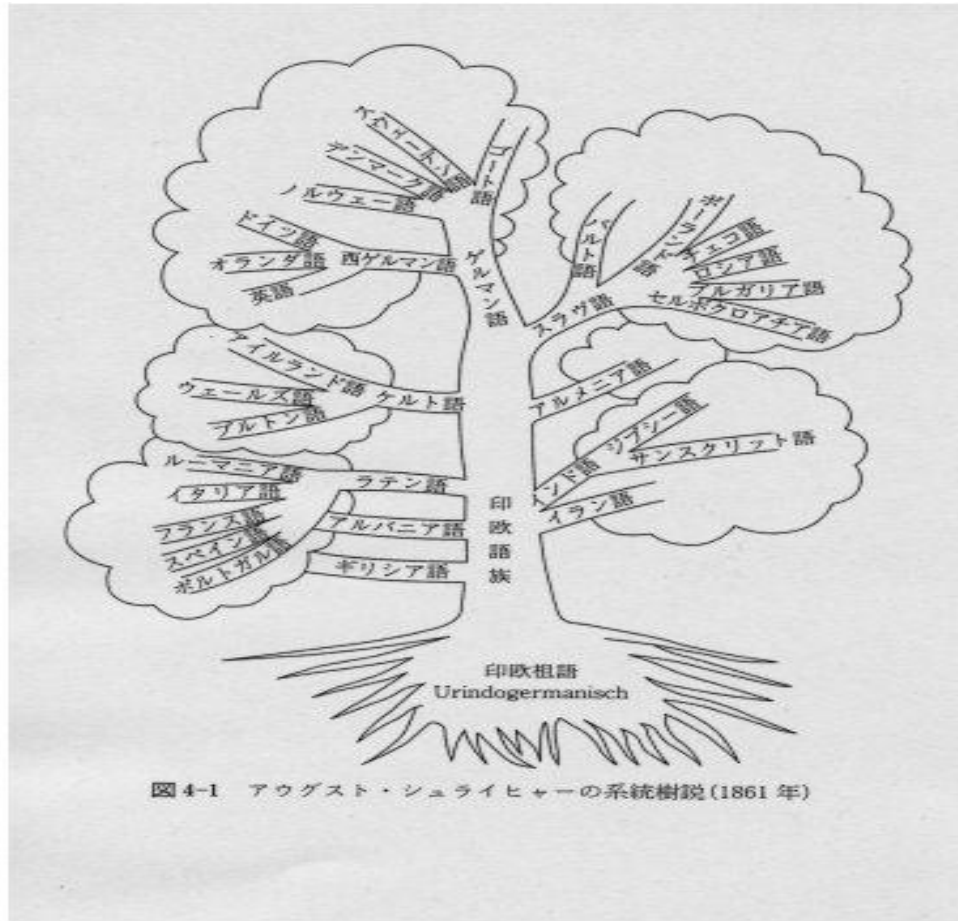
古代日本(奈良～平安時代)

- 東北～北海道(蝦夷～アイヌ)
- 東国:三関(伊勢鈴鹿、美濃不破、越前愛発)から東
- 大和(畿内:山城、摂津、河内、和泉、大和)
- 九州(熊襲)～沖縄

アイヌ語の広がり

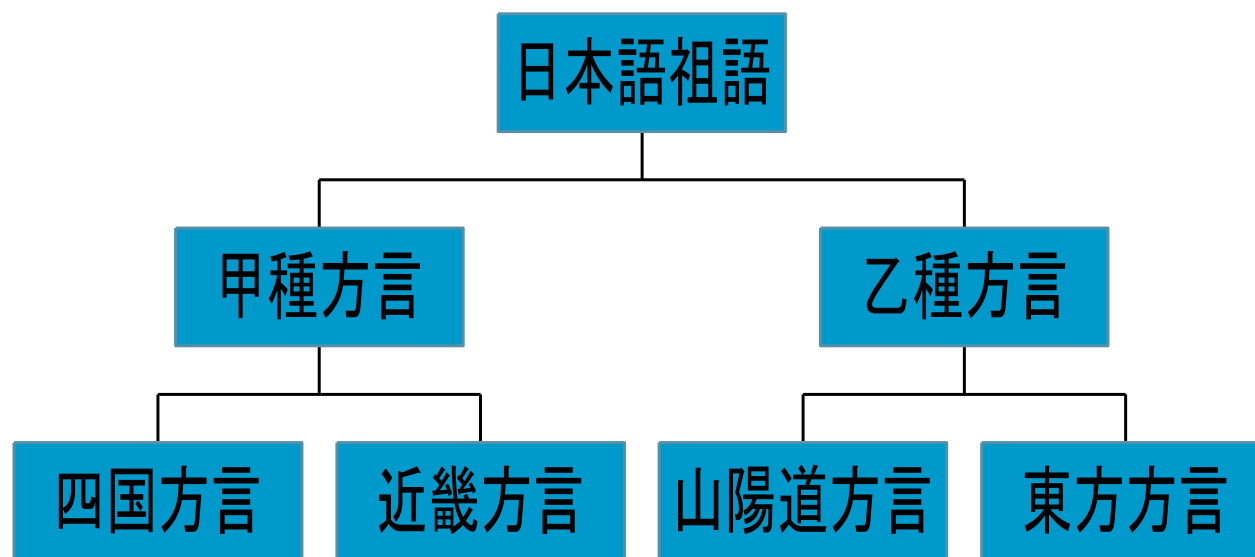


系統樹モデル

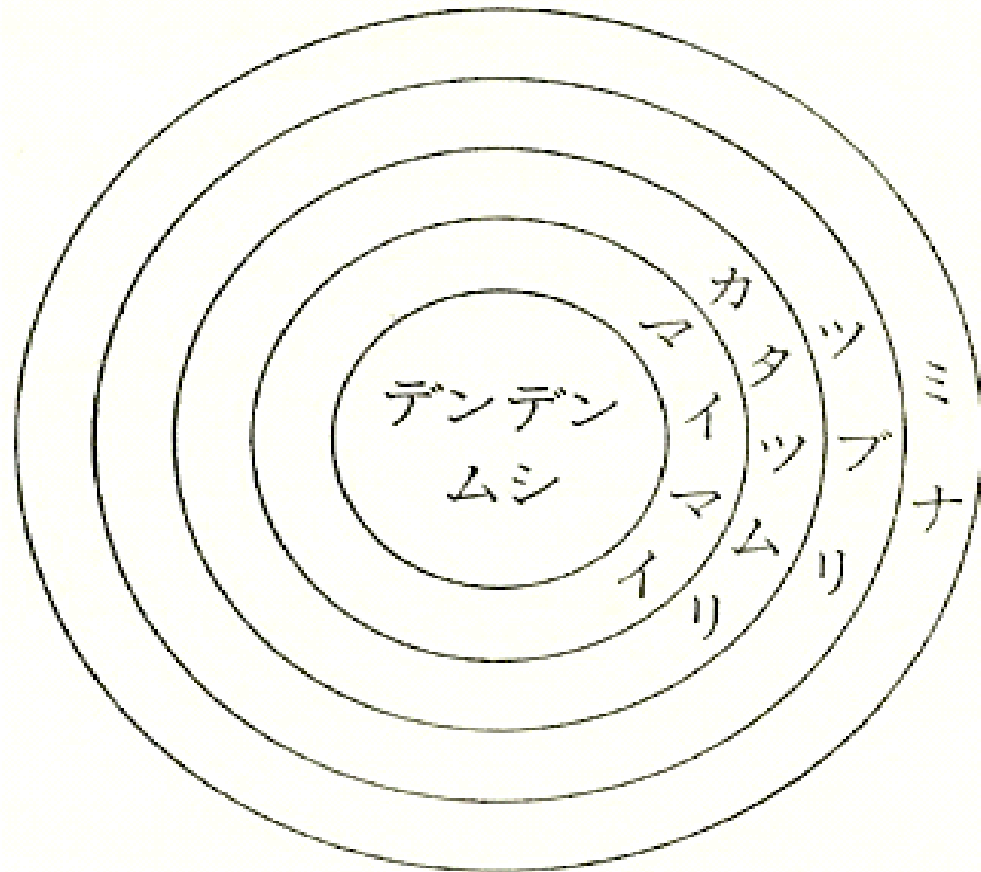


服部四郎氏の説

日本語樹形図

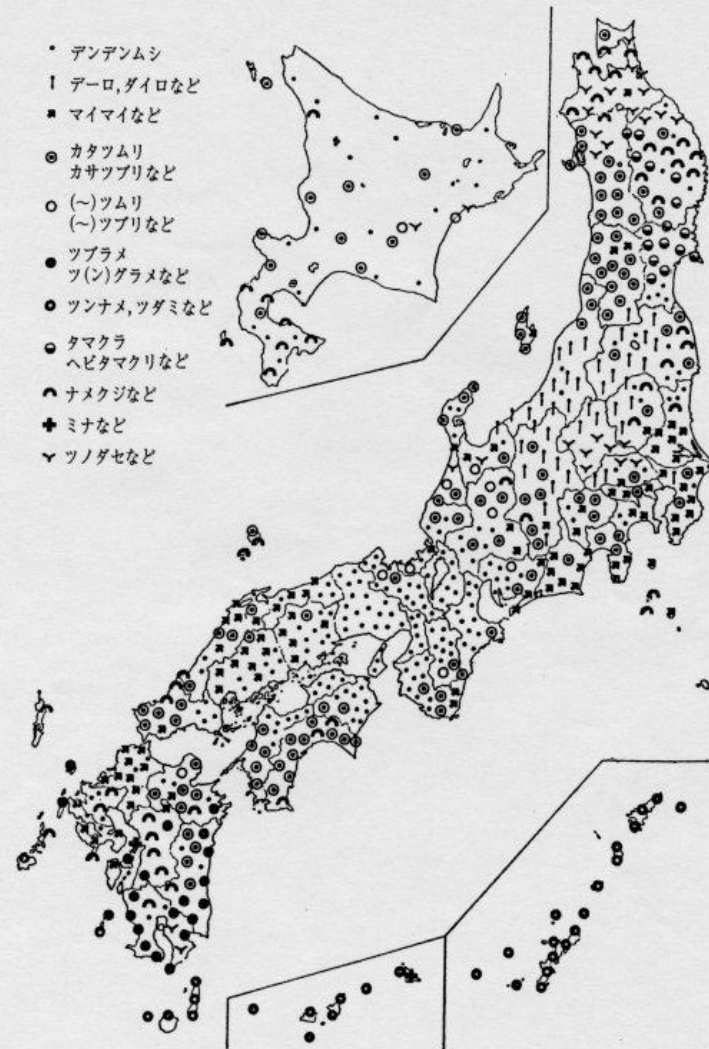


柳田国男の「方言圏説」



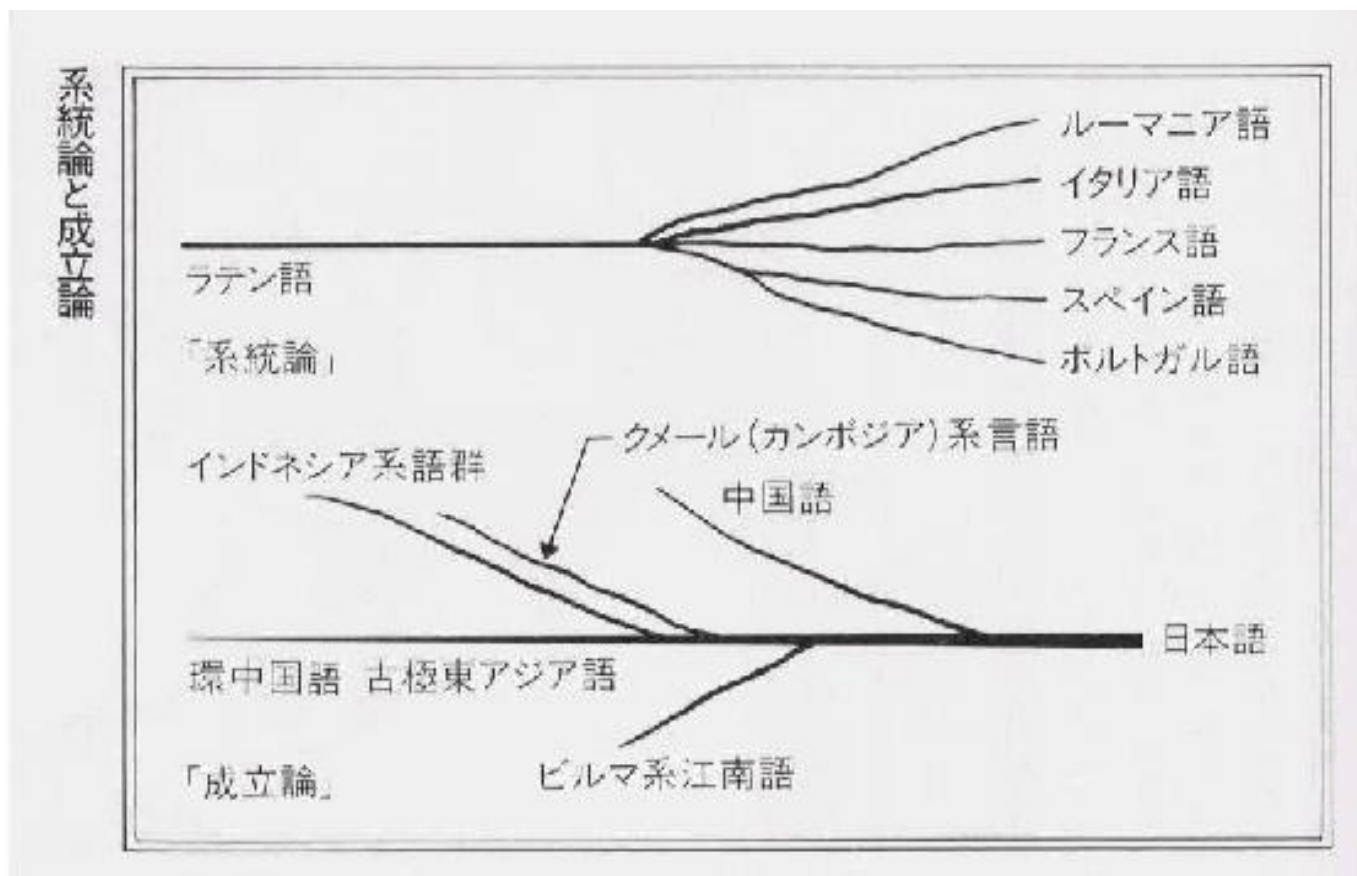
蝸牛考

図13 かたつむり (蝸牛)



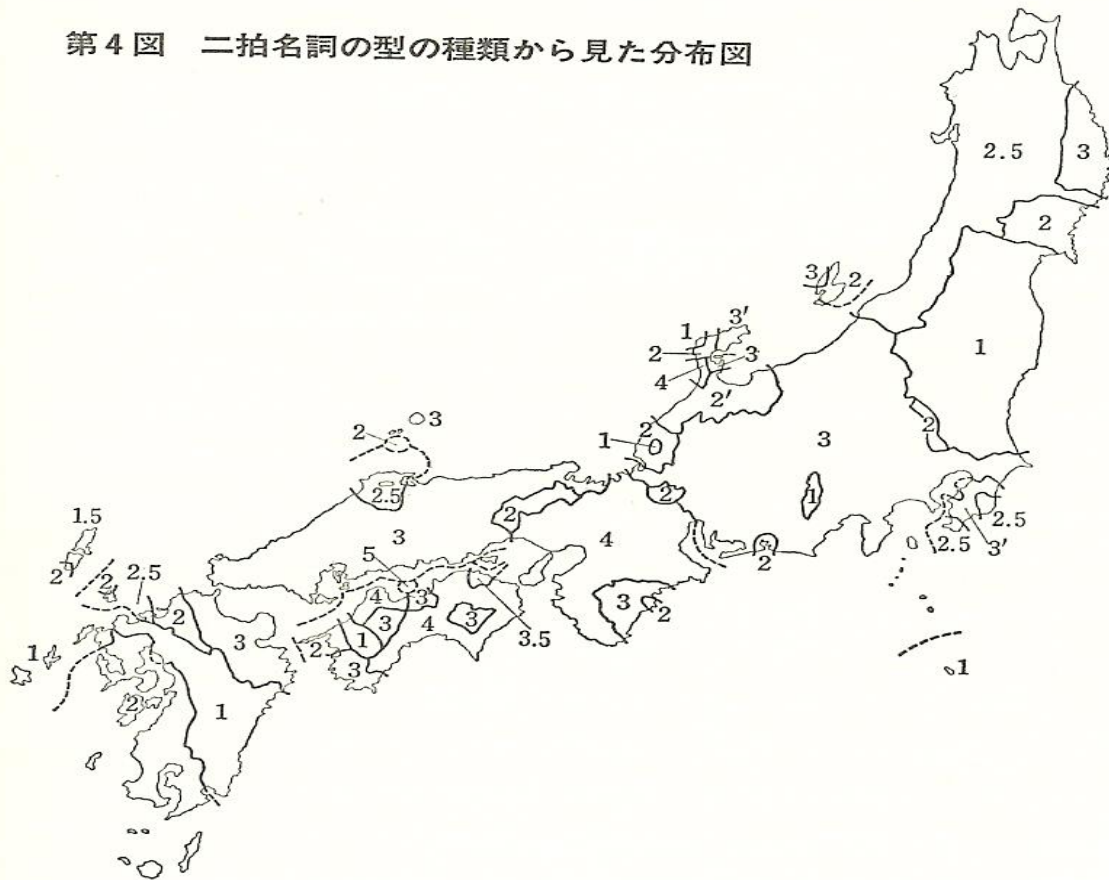
(出所) 『日本の方言地図』より。

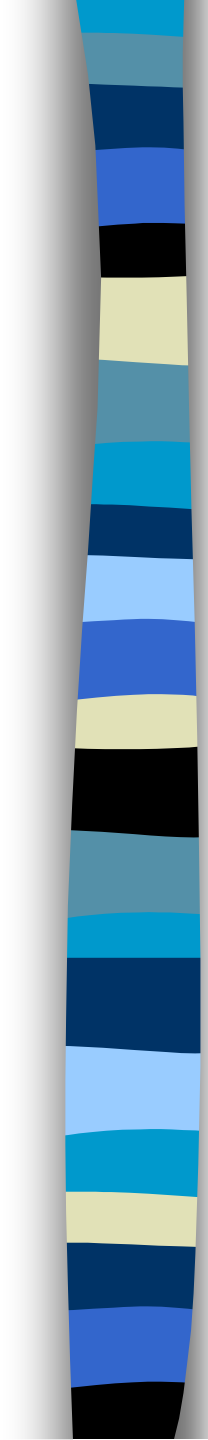
安本美典氏の説



金田一春彦氏の説

第4図 二拍名詞の型の種類から見た分布図





奈良時代以前は一体どうなっていたの？

- タミール語説

- ビルマ語説

- 朝鮮語説

- ポリネシア語説 等々

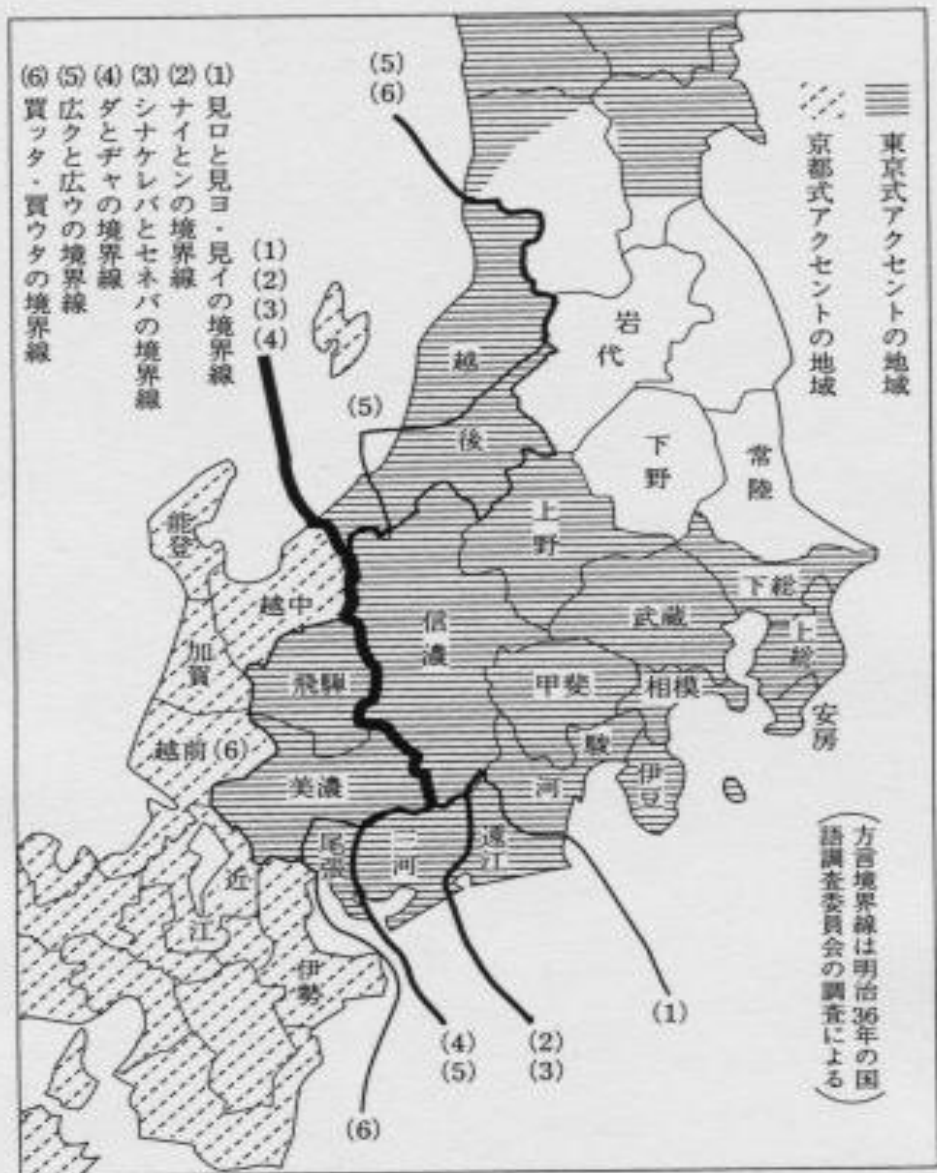
文字がないから研究できない？



?

日本の実像





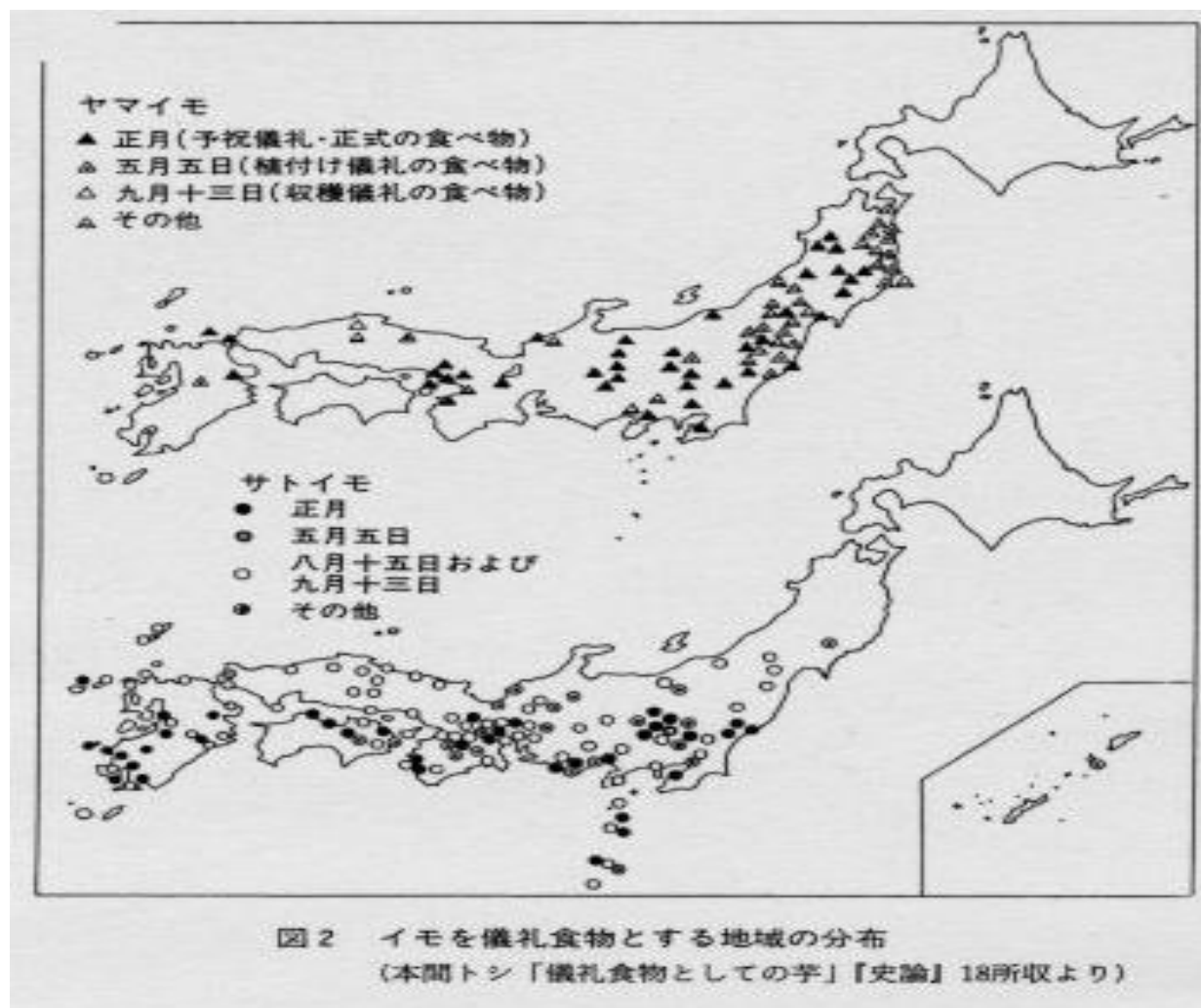
- (1) 見口と見ヨ・見イの境界線
- (2) ナイとンの境界線
- (3) シナケレバとセネバの境界線
- (4) ダとチャの境界線
- (5) 広クと広ウの境界線
- (6) 買ッタ・買ウタの境界線

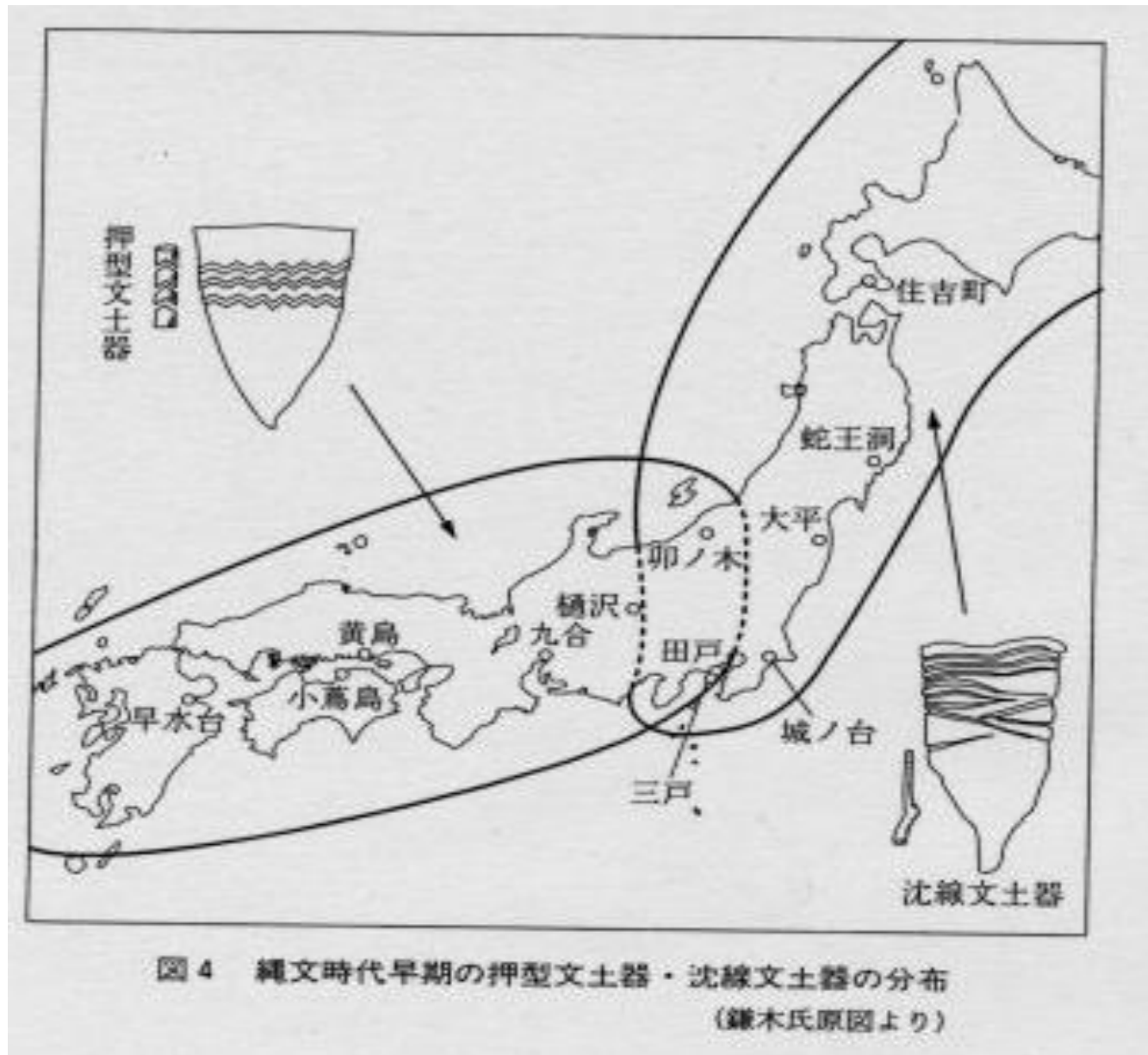
図1 中部地方の言語境界図 (大野晋『日本語の起源』より)

東と西

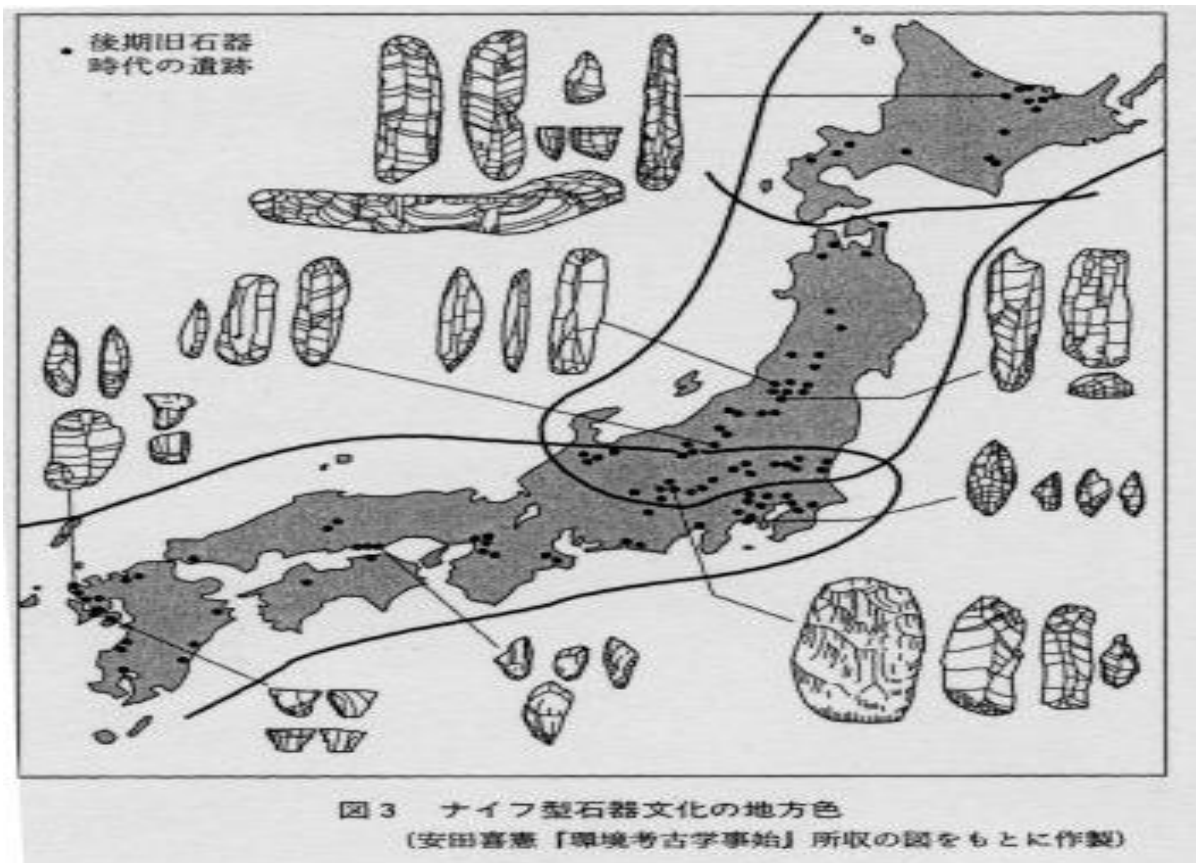


西日本と東日本

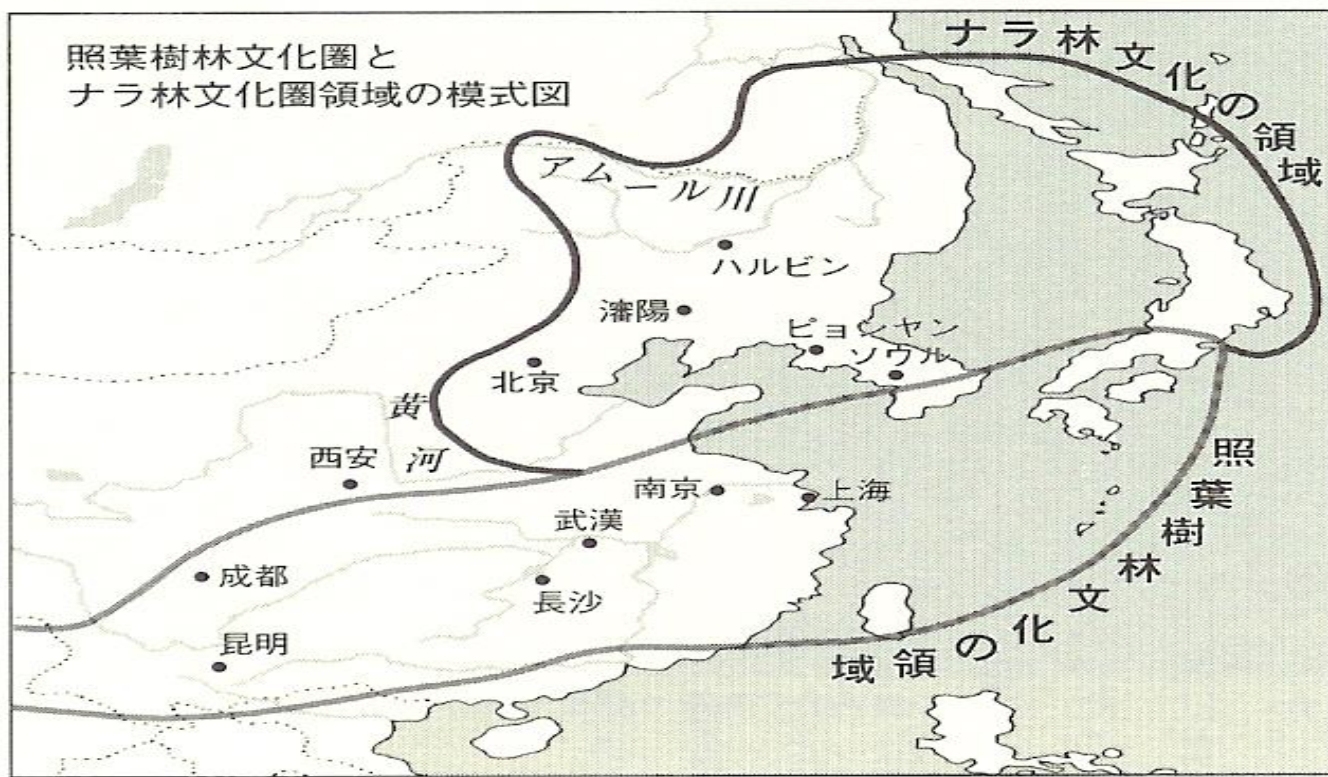




東と西



縄文時代2

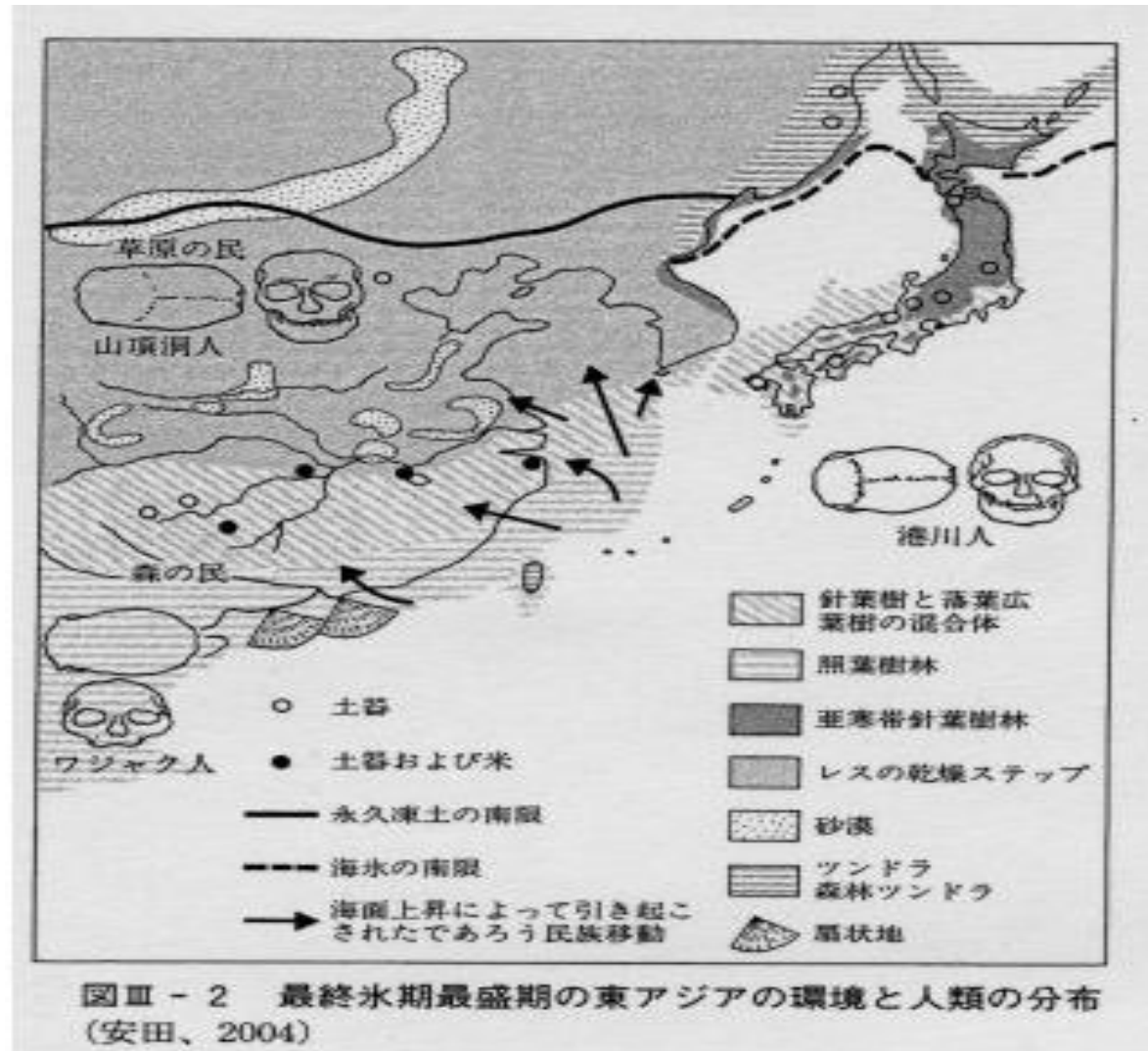


この図は、縄文時代の文化圏の分布を示している。ナラ林文化圏領域は、アムール川流域を中心に、ハルビン、ピョンスヤン、ソウル、北京などに広がる。照葉樹林文化圏領域は、黄河流域を中心に、西安、南京、上海、武漢、成都、昆明、長沙などに広がる。

照葉樹林地域

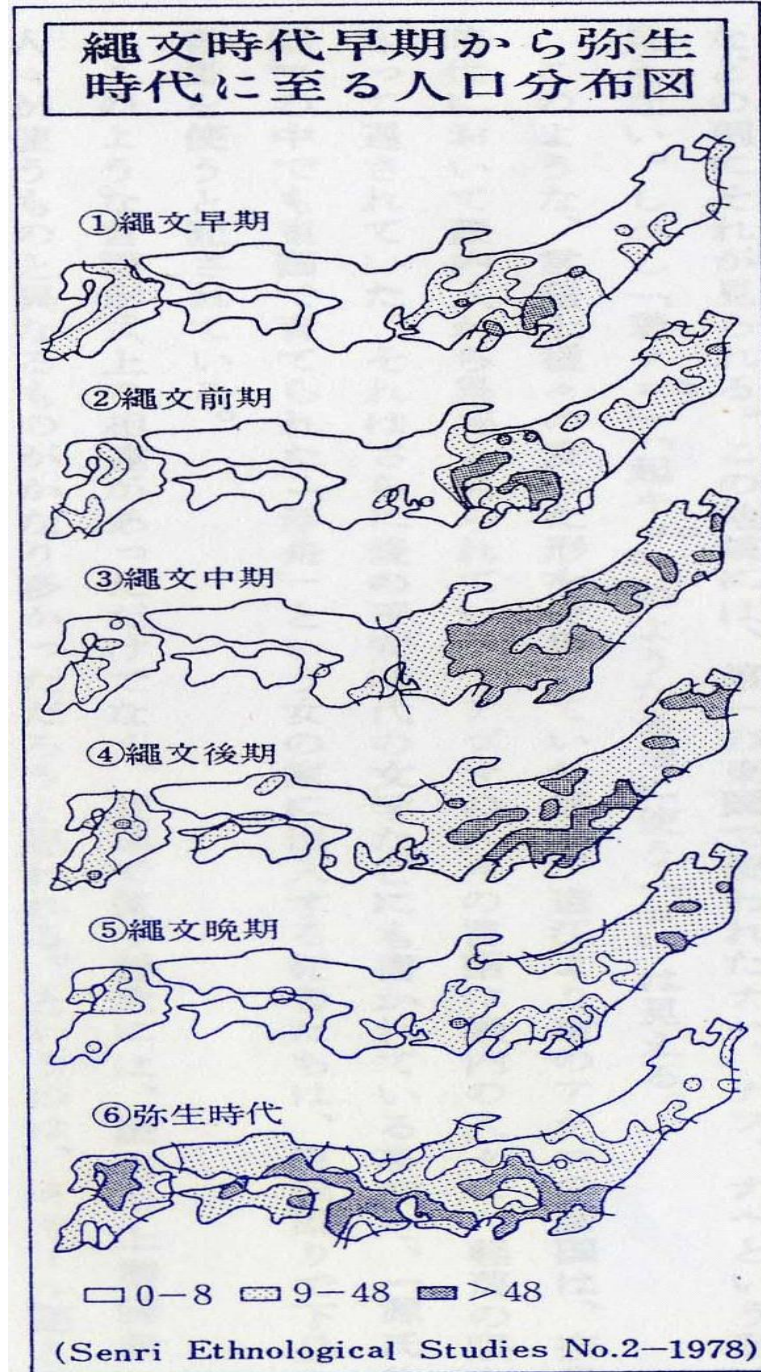


最終氷河期の東アジア



縄文時代1

- 紀元前1万年
- ~
- 前4世紀





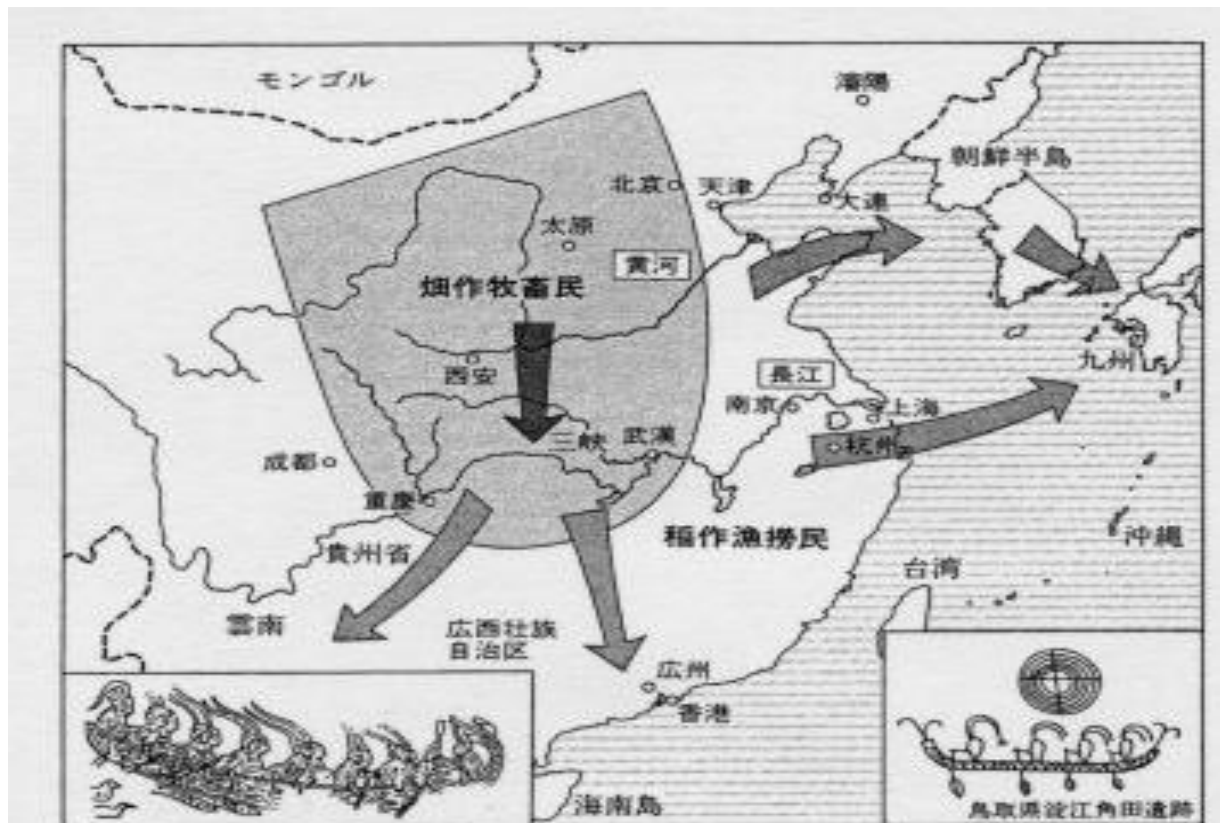
弥生人はどこから来たか？

- 弥生時代 紀元前4世紀頃から後3世紀ごろまで
- 水稲耕作や金属器の使用が始まる

稲作の伝来ルート



ボートピープルの発生



図Ⅲ-7 4200年前以降の東アジアの民族移動（梅原・安田、2004）北からの畑作牧畜民（漢族を含む）の大移動により長江流域の稲作漁撈民は移住を余儀なくされた。鳥取県淀江町角田（すみだ）遺跡出土の弥生土器に描かれた頭に羽飾りをつけた船人たちは、雲南の青銅器の図柄とよく一致する。



日本民族二重構造説

- 古モンゴロイド
- 縄文期以前に南から日本にやってくる
- → 琉球人、アイヌ人

- 新モンゴロイド
- 弥生期に大陸から日本にやってくる
- → 九州から近畿(邪馬台国、大和)



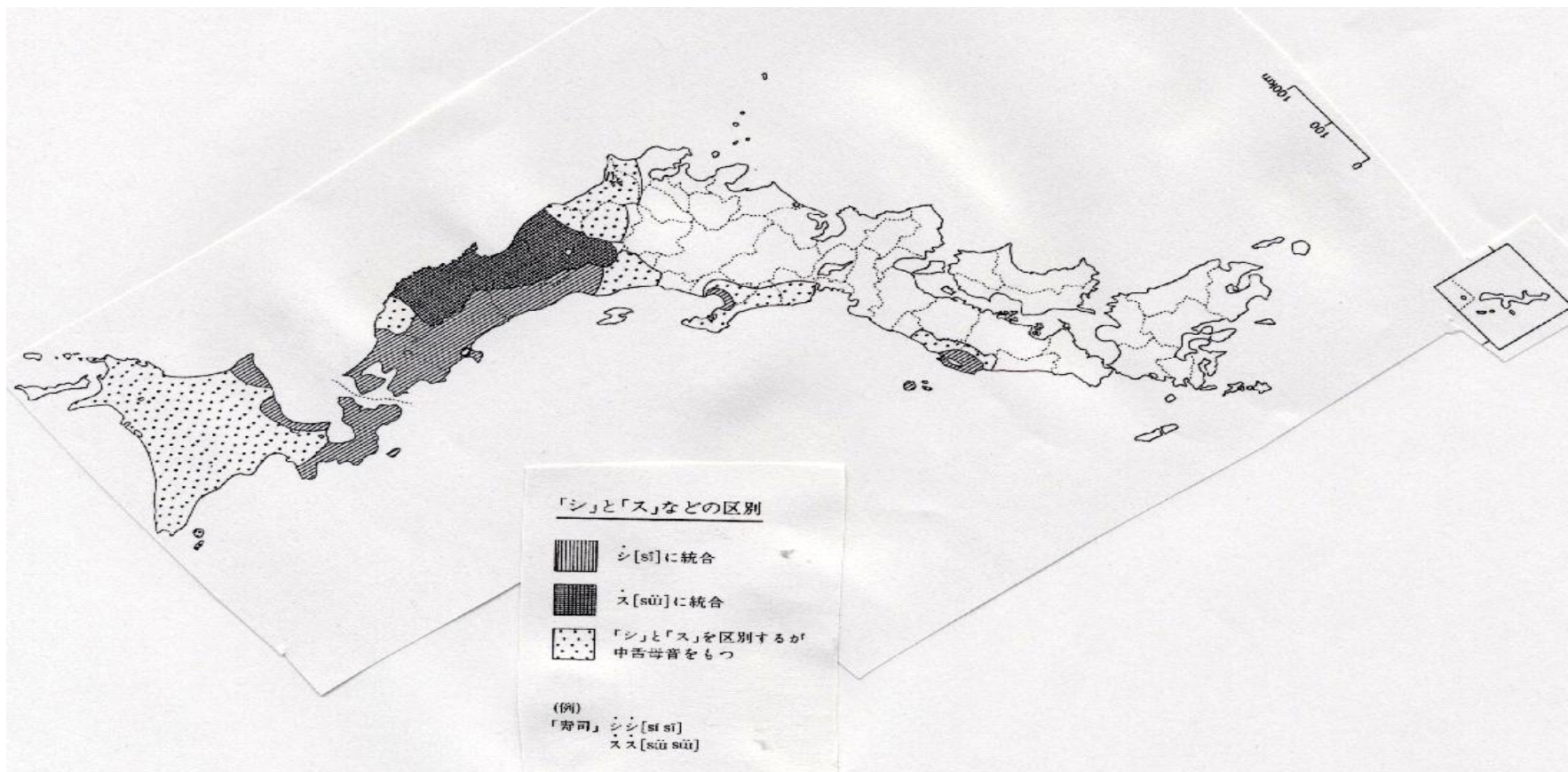
縄文人と弥生人はどうやって コミュニケーションしたか

- 縄文人はもともと「海の民」として大陸に出ていった→「倭人」
- 漢字が読める倭人もいたのでは？

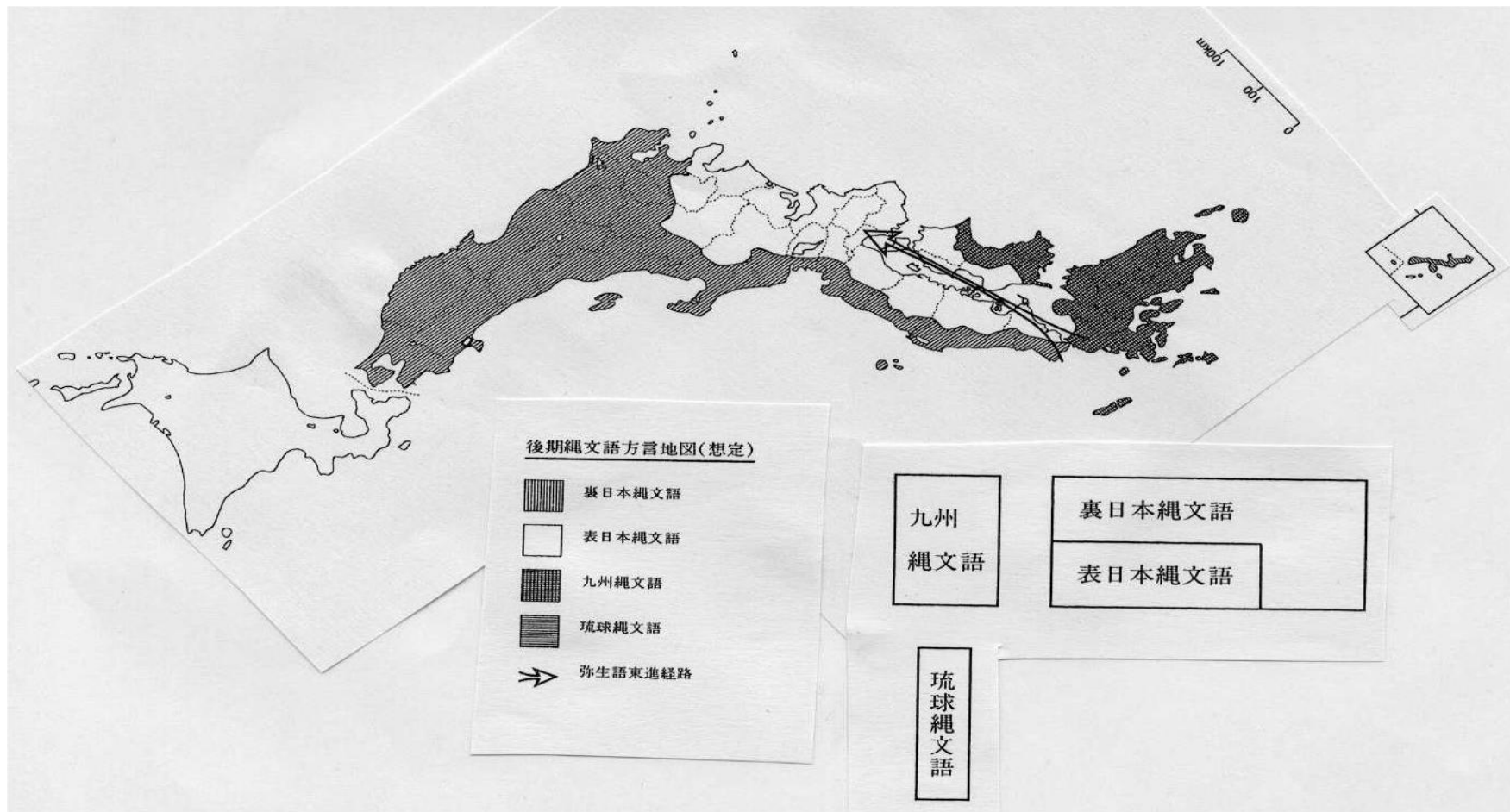
縄文語の名残1



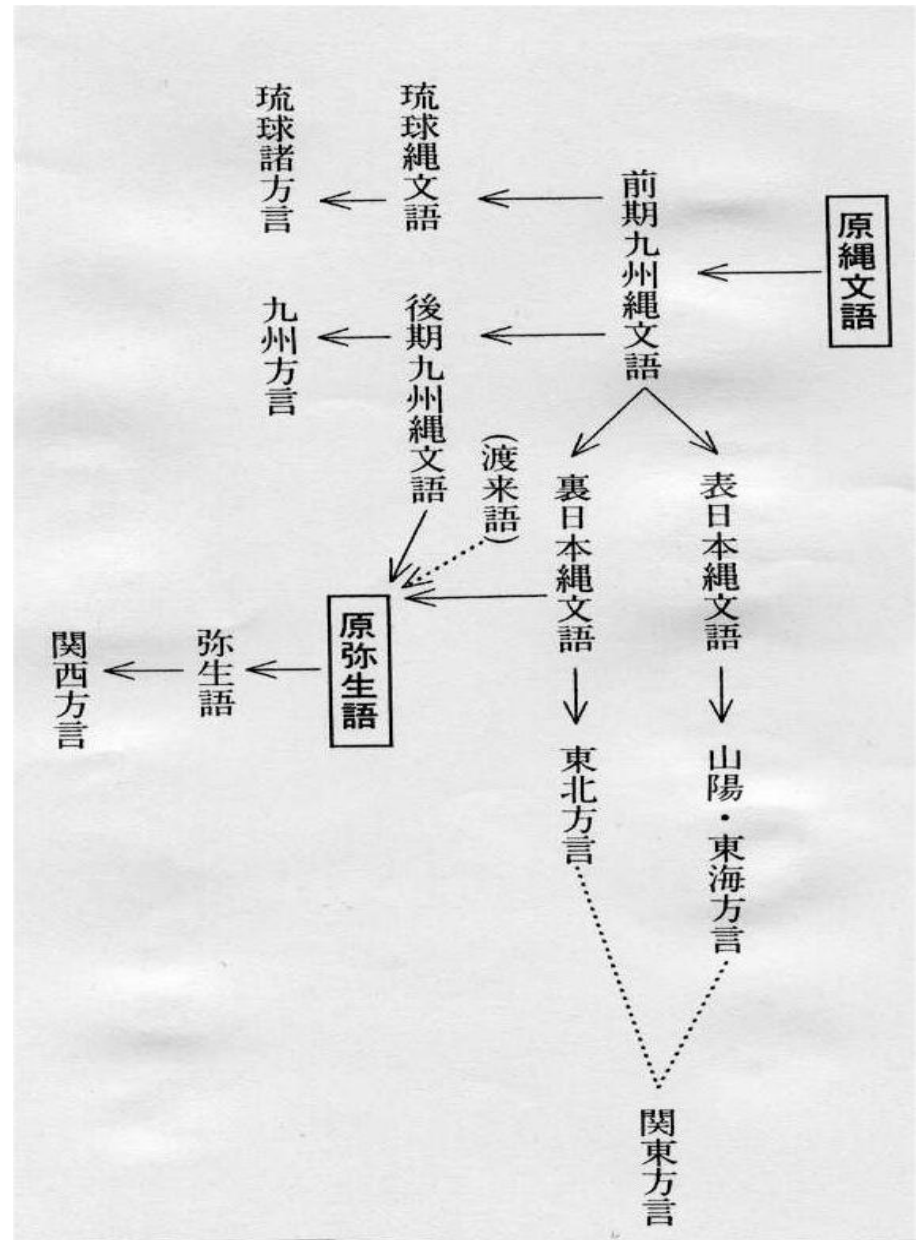
縄文人の名残2



弥生人の渡来

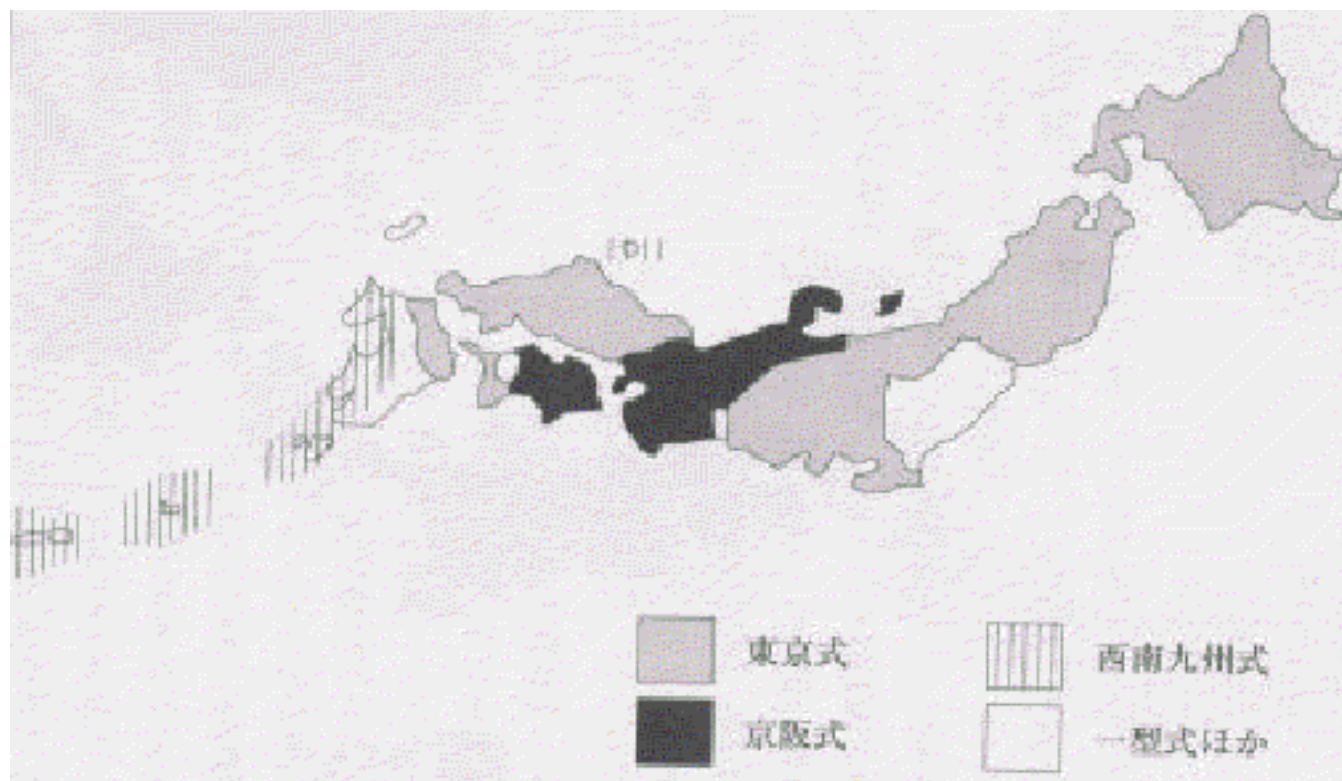


小泉保氏の説



弥生人の日本語1

- 声調言語ではなかったか？



弥生人の日本語2



関西弁 と 標準語1

- 山が
- ●○○○
- 雨が
- ○●○○
- 命が
- ●○○○
- 鏡が
- ●●○○

- 山が
- ○●○○
- 雨が
- ●○○○
- 命が
- ○●○○
- 鏡が
- ○●●○



関西弁 と 標準語2

■ 食べる

■ L0

■ 走る

■ H0

■ 変える

■ L0

■ 帰る

■ H0

■ 食べる

■ ○●○

■ 走る

■ ○●○

■ 変える

■ ○●●

■ 帰る

■ ●○○



関西弁 と 標準語3

■ 飴、風、鼻	H0	■ 飴、風、鼻	(0)
■ 石、音、紙	H1	■ 石、音、紙	(2)
■ 足、犬、花	H2-H1	■ 足、犬、花	(2)
■ 肩、空、箸	L0	■ 肩、空、箸	(1)
■ 秋、雨、猿	L2	■ 秋、雨、猿	(1)



標準語の誕生

- 1905年 「音韻調査報告書」「音分布図」
 - 1906年 「口語法調査報告書」(上下)
 - 「口語法分布図」
-
- これらによって初めて「東西のことばの違い」が浮き彫りになった。



標準語

- 1) 標準語 standard language
- 2) 共通語 common language
- 3) 公用語 official language
- 4) 母国語 母語 mother tongue
native tongue (language)



標準語

- 一国の規範となる言語として、公用文や学校・放送・新聞などで広く用いられるもの。日本語では、おおむね東京の中流階級の使う東京方言に基づくものとされている。(広辞苑)



共通語

- いくつかの言語や地理的方言をもつ言語社会において、その全域にわたって通用する言語や方言（広辞苑）



公用語

- 国内で数種の言語が用いられている国家で、その国の公けの目的、特に政府の媒体として用いられる言語。(広辞苑)



母語 (Muttersprache ドイツ語)

- 幼時に母親などから自然な状態で習得する言語。第1言語。母国語というと国家意識が加わる。(広辞苑)